

退院調整ルールとは

退院調整とは、入院患者さんの在宅復帰を実現するために、患者さんのニーズに応じたケアが受けられるように医療機関（退院支援チーム）とケアマネジャー【介護支援専門員】など（在宅療養支援チーム）が連携をすることです。

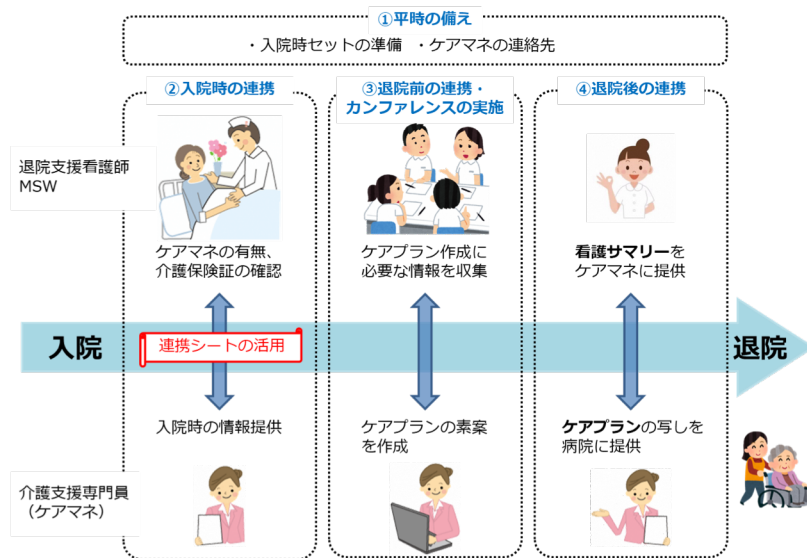
南信州在宅医療・介護連携推進協議会では、圏域内の医療関係者、ケアマネジャー、保健所、市町村、地域包括支援センター、関係団体など、たくさんの方々に検討・協議を行い、医療機関とケアマネジャーを中心とした関係者が連携をとりやすくするための「退院調整ルール」をつくりました。

「退院調整ルール」は、患者さんが退院する際に、切れ間なく必要な介護保険サービスを受けられるようにするための、飯伊圏域における連携のしくみです。

医療機関とケアマネジャー（介護支援専門員）が、患者さんの入院時から情報を共有し、退院に向けて、話し合い（カンファレンス）や介護保険サービスの調整などを行います。

患者さんの退院を地域全体で支えるために、南信州「退院調整ルール」をぜひご活用ください。

南信州「退院調整ルール」のフロー



在宅医療介護連携
～8つの取組～

退院調整ルール

在宅医療・介護の専門
家に相談するには

▶飯田下伊那診療情報連携システム (ism-Link) のご案内

連携シート（在宅患者基本情報共有書）とは

「連携シート」は、退院調整ルールに該当する患者情報を多職種間で共有するためのシートであり、在宅療養支援の要となるシートです。

▶飯田下伊那診療情報連携システム (ism-Link) とは

飯田下伊那地域の医療機関及び介護事業者間で、個人情報に係る安全対策が万全なセキュアネットワーク環境の下で、診療情報を共有するシステムです。

患者さんの同意のもと、病院、診療所、歯科診療所、保険薬局、訪問看護ステーション、介護支援専門員等が情報の共有を図ります。一体的で切れ目の無い医療介護サービスを受けられるようになります。地域全体で住民の健康をサポートし、安心して暮らせる社会を実現します。

※連携シート・ism-Linkの様式や、使い方マニュアルについては、上記ダウンロード をクリックしてください。

▶ism-Linkの
ご案内